

草の根・人間の安全保障無償資金協力案件 コンポンチュナン州船着場 2 案件完成式典の開催



隈丸大使によるスピーチ

5月30日（木）、コンポンチュナン州コンポン・トロラーイッ郡タチェスコミュンにおいて、同地区のタチェス船着場及び同州コンポンレーン郡コンポン・ハウ船着場の完成式典が開催されました。同式典には、トラム・イウ・テック公共事業運輸大臣、シアット・クムリーヤン・コンポンチュナン州副知事、その他政府関係者や地域住民を含め、約400名が参加、日本大使館からは隈丸大使が出席しました。

2件の船着場のうち、タチェス船着場は2012年2月に贈与契約が結ばれ、昨年8月に工事が完了。また、コンポンハウ船着場は2013年2月に贈与契約が結ばれ、5月末に工事が完了し、この度の完成式典の運びとなりました。

式典で、隈丸大使は「以前は、住民が土手に直接船をつけて乗り込み、トンレサップ川を往来することが非常に困難であったと聞いています。両案件は、コンポンチュナン州内の計13コミュン、約80,000人の住民に裨益するものであり、日カンボジア友好記念60周年の本年、両国の友好関係が更に親密になることを願っています。」と述べました。

続いて、トラム・イウ・テック公共事業運輸大臣は、「日本の継続的な交通分野の支援に大変感謝しています。船着場を利用することで、多くの農作物が運搬できる他、交通渋滞・事故の減少が期待できます。住民の皆さんには、この新しい船着場を大切に維持管理することを願っています。」と述べました。

最後に、隈丸大使とトラム・イウ・テック公共事業運輸大臣らが、船着場のテープカットを行い、和やかな雰囲気のもと式典は終了しました。



テープカットする隈丸大使



式典に参加する住民

■ タチェス 船着場



以前の船着場周辺の様子



改修後の船着場の様子

■ コンポンハウ 船着場



以前の船着場の荷役状況①



以前の船着場の荷役状況②



船着場の整地の様子



浮棧橋建設状況